

京都市子ども安全ネットワークニュース

Vol. 25 平成22年3月 発行：京都市子ども安全会議事務局

教育委員会体育健康教育室 Tel.213-5472 http://www.city.kyoto.lg.jp/kyoiku/soshiki/29-4-0-0_2.html

「各地域の知恵を，明日からの活動のヒントに！」 ～平成21年度「京都市学校安全ボランティア講習会」開催～

2月17日，全市を対象とした上記講習会が，学校安全ボランティアの方々等，約350名に参加していただき，京都市総合教育センターで開催されました。今回は，昨年開催された各地域での講習会を総括するものとなります。当日は，各地域で出された見守り活動の課題や実践事例を紹介するとともに，2名の講師に講演していただきました。

講演第1部では，京都府警察本部犯罪抑止対策室の野村幸雄警部から「危機管理」と「安全管理」の意味をはじめ，専門的な立場から防犯のポイントを分かりやすくご説明いただきました。また，野村警部から学生防犯ボランティア「ロックモンキーズ」のメンバーが紹介され，期待の大きさを表すかのような盛大な拍手が会場から沸き起こりました。

※「ロックモンキーズ」問合せ先 京都府警察本部犯罪抑止対策室 Tel.451-9111 内線(3042)まで



プロの視点から分かりやすく解説いただいた野村警部



今後の活躍が期待される学生防犯ボランティア「ロックモンキーズ」の皆さん

講演第2部では，同志社大学大学院の谷口知弘教授から地域の絆の大切さ，更には，まちづくりの視点から見守り活動が担う役割を具体的にお話いただきました。日頃の活動の重要性を再認識するとともに，今後の活動に大いに参考となるお話でした。



「地域のおやじ」としても活動される谷口教授 実体験をまじえた話で会場を釘付けに！



定番となった？谷口教授の質問に答える参加者の皆さん

参加者からの意見等の一例

- 危機意識を持ち続けることの大切さと難しさを実感した。
- 地域の力をまだまだ活かすことができると思った。
- 他地域の活動状況が分かり，大変参考になった。
- 小さな活動でも，地域を守ることにつながっていることを誇りに思い，今後も継続していきたい。
- 子どもは，地域の皆で育てていくものだと改めて感じた。
- 学生防犯ボランティアの存在を知り，心強く思った。

子どもを共に育む
京都市民憲章



社会のあらゆる場で実践し、
行動の輪を広げましょう！

各校区の事例紹介 地域ぐるみの子ども安全活動の取組

南大内小学校区(南区)



5年前、下校途中の低学年女子児童をねらって、見知らぬ男性が家まで付きまとう事件がありました。本校区は民家の密集した市街地であり、空き地がないかわり、多くの通学路に人通りが見られません。校区全体が地域の目の届きにくい場所とも言えます。当面は保護者が校門まで迎えに来て下さることになりました。学校では、まず、「子ども110番」の家の倍増を図りました。校区内のどの場所から見ても緑の標識が見えるように、「子ども110番」の家をお願いし、子どもたちには町別の児童会後の集団下校の際、各家を訪問し、御礼方々場所の確認をさせました。また、下校時の開門時刻(2時, 3時, 3時45分)制限をして、下校する子どもたちをできるだけ多人数で帰らせるようにしました。さらに、老人会の方々にお願いして、この時間帯に校門のところで送り出しをしていただくようにしました。

こうした活動を続けながら、翌年の学校運営協議会の設置の際に、児童安全部を作っていただきました。この児童安全部には、老人会・防犯・自主防・交対協・消防分団・PTAの方々が組織として加入してくださり、毎日10名程の体制で下校時の見守り活動をしてくださっています。下校時の声かけや車の交通量の多い交差点での安全指導などが日常化し、子どもたちと地域の方を結びつける重要な場となっています。顔見知りになったお年寄りに優しい声をかける子どももおり、お礼の手紙を頂いたばかりであります。



最近では、登校時(集団登校)に玄関先で声かけをしてくださったり、独自に安全見守り活動を続けてくださる方がおられるようになり、取組が進んでいます。

池田東小学校区(伏見区)

池田東小学校の校区は歩道のない所が多くあります。また、西を外環状線、東を新奈良街道に挟まれるため、校区内を抜け道として利用する車も多く、登校時には特に交通量が増加します。そのような中で、地域の方が見守り隊として120名以上も登録され、常時80名ほどの方が辻々に立ち、子どもの安全登校に協力くださっています。



子どもたちが見守り隊の方に大きな声であいさつを交わす光景もあちこちで見られます。年度末には「見守り隊に感謝する会」も開かれ、子どもたちとの交流も盛んです。

登校時のみならず、下校時も学年ごとの下校時間に合わせて、見守り隊の方が立って下さり、不審者はいないか?曲がり角からの飛び出しはないか?など常に子どもたちの安全に気を配ってくださっています。また、見守り隊の方の中には、毎日顔を合わす子どもの様子から、健康状態までも読み取って学校に連絡をくださる方や、いつもほうきやちり取りを手にして学校の周りを朝早くから清掃してくださる方がおられ、常に頭の下がる思いです。校門まで来ると自治町内会連合会の会長さんが自ら見守り隊員の一人として、子どもたちに声をかけてくださっています。最近では、その姿に刺激を受け、PTAの方々も自主的に登下校の時間帯に子どもの安全を見守って下さっており、地域全体で子どもを守ろうという意識がますます強くなっていると実感しています。

